

清友

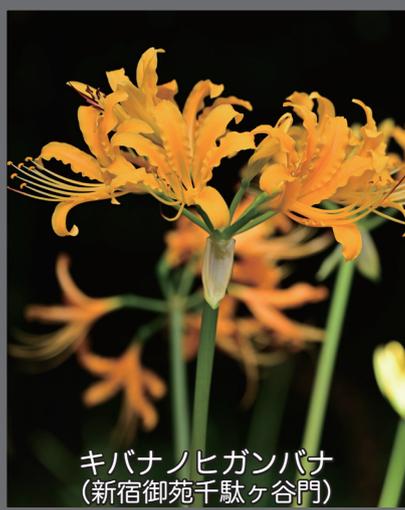
No.169

2023年9月
(2023年9月8日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



キバナノヒガンバナ
(新宿御苑千駄ヶ谷門)



土産物店まわりなども楽しみたいのですが、足元がややしくなって...となりそうですね。
■会費はなし。『よこすか満喫きっぷ』を各自で購入、『猿島探検ツアー』料金は会が負担。
まあ、大体こんな感じの場当たりツアーです。

昨年行った『みさきまぐろ満喫ツアー』に似た企画です。

10.20

猿島周遊・ヨコスカ満喫♪ 退職者会日帰り親睦旅行

今年の親睦旅行は、『よこすか満喫きっぷ』を使った猿島・横須賀日帰りツアー。

若い女性たちに大人気です。ランチは、横須賀『ポルトマーケット』の海鮮料理店を予定。豪華ランチ&ビール、たまらないですね。

時間的に余裕があれば日露戦争日本海海戦の旗艦『三笠』を見学、道々土産店見物などしながら、京急『横須賀中央駅』で流れ解散を予定。

その後、横須賀名物『ドブ板通り』に寄るもよし、自由行動です。ご家族や友人もお誘いの上、参加ください。

大まかな予定はこんな感じ♪

- 日時 10月20日(金)
- 集合 7時30分、品川駅
- 京急乗換口(集合時間はちよつと早いのですが、猿島渡船時間との関係です。)
- 主な行程 品川発特急↓横浜↓汐入 徒歩又はバスで三笠公園へ移動。
- 猿島渡船乗船9時30分(これに遅れると大変)、9時50分島探検ツアー開始、ツアー終了後は島内自由散策。
- 猿島帰りの渡船11時45分、『ポルトマーケット』へ移動、磯料理とビールで歓談。
- その後、記念艦『三笠』見学、

9・22

退職者会23秋の学習交流会

「つくられた危機を現実にしてはならない」をテーマに

政権は本来アウト

これだけの不祥事が揃えば政権はアウトでしょう。

日々拡大・拡散するマイナカード・トラブルに加え、自民党秋本議員の風力発電贈収賄事件、木原官房副長官のスキャンダル、党研修での松川

ところが、岸田政権の支持率が持ち直す傾向にあり、「国民民主党入閣」という永田町情報もチラホラ。この国の政治は一体どうなるのでしょうか。

染講師の話しをじっくり聞こう

野村農水相の「汚染水」発言（正しい発言だが）、挙げ句の果ては、麻生副総裁による台湾での「戦う覚悟」発言。普通、

9月22日の退職者会学習会は、絶対的権力を誇った安倍がでなかつた「大軍拡と防衛費激増」などを政治基盤の弱い岸田政権がなぜ

学習交流会案内

- 日時 9月22日(金) 午後1時15分開会
 - 場所 清掃会館地下ホール
 - テーマ 「つくられた危機を現実にしてはならない～国家観なき『砂上の楼閣』岸田政権
 - 講師 染 裕之さん (平和フォーラム副事務局長、元・東京清掃委員長)
- ※懇親会は、実施しません。

延している状況を踏まえ中止します。なお、楽しみにしていた「懇親会」は、残念ですが、コロナが蔓延している状況



秋から来春の行事を検討中です

1月に秋のフィールドワーク

秋のフィールドワークは、

実施日……11月中旬の予定

実施案……ボランティアガイドによる谷中散策

10時、日暮里駅前集合く2時間程度散策く日暮里に戻り街中華でランチ&ビール

会費……2千円程度

1月27日に新春の集い

実施日……1月27日(土)

実施案……例年同様、飯田橋で開催の予定。新しい会場探しも目処が立ちました。

勿論、「お楽しみ会」付き。

会費……2千円程度

演芸を楽しむ会は2月頃

『国立演芸場』が建替えにより閉鎖になりますので、現在、新会場を検討中です。

落語中心なら新宿末広亭、上野鈴木演芸場、浅草演芸ホール、池袋演芸場が候補。視点を替えて大衆演劇(例えば浅草木馬館)もいいのではない

かと検討しています。来年2月頃の開催を考えています。

3月末にお花見ウォーク

これまで、「東京く埼玉く千葉」と開催場所のローリング方式を採ってききましたが、都内開催を望む声の多いことが判りました。都内の桜の名所はどこも混むため、シートを敷いての花見は難しいので、「とある公園に咲くサクラを愛で、とある処でビール」という方式も含めて検討中です。

こんな感じで、毎月月初めに機関紙等発送作業をやっています。



人事院告 勸

過去5年の平均と比べ10倍の
ベースアップ！人事院自画自賛

▽高卒初任給1万2千円引上げ
▽若年層在職号俸を重点に改定率逓減
▽ボーナスは0・1月分引上げ
引上げ分は期末・勤勉に均等配分

初任給大幅引上げ等勸告

人事院は8月7日、①月例給の民間較差0・96%を解消するため、初任給を大幅に引上げ（高卒1万2千円）、若年層在職号俸の改善を重点に改定率を逓減（1級5.2%〜5級以上0.3%）、②ボーナスを0・1月引上げ、期末手当と勤勉手

当に均等配分、③テレワーク手当新設（月額3千円）、④フレックスタイムの柔軟化、⑤給与制度アップデート骨格案等の勸告と報告を行いました。

物価高騰に追いつかない勸告

自治労と公務員連絡会は、「昨年に引続く初任給、月例給、一時金引上げと、一時金引上

げ分が期末手当にも配分されたことは組合員の期待に一応応えた内容といえる。全世代への月例給引上げは一

定評価するが、引上げ率が0・96%に留まり、物価高騰に追いつかないこと、中高年齢層への引上げが不十分なことなどは不満。来年成案予定の給与制度アップデートに関し、全世代のモチベーション向上に資する制度へ取組みを進める等の見解を明らかにしました。今年度の勸告も、物価上昇に追いつかないという勸告制度の矛盾を一層明白にしました。

東京清掃の闘いを応援

東京清掃の課題は、政令指定都市中最低レベルの賃金水準の引上げ、とりわけ、現業賃金水準を抜本的に改善することです。退職者会は今年も現役世代の闘いを応援します。

人事院勸告・報告の概要

I) 給与に関する勸告・報告

<月例給>

○官民較差 3,869円 (0.96%)

○行政職俸給表(一)

*初任給引上げ

一般職高卒 12,000円 (7.8%)

*若年層在職号俸を重点に置き、改定率を逓減

1級 5.2%、2級 2.8%、3級 1.0%、4級 0.4%、5級以上 0.3%

<ボーナス>

○民間事業所との差 0.09月分

○支給割合の均衡を図るため

0.10月分引上げ→4.50月分

*引き上げ分は、民間の支給状況等を踏まえ、期末手当、勤勉手当に均衡配分(0.05月分づつ)

<手当新設>

○テレワーク中心の働き方をする職員の光熱・水道費等負担軽減のため、在宅勤務等手当新設

月額:3,000円

II) 勤務時間に関する勸告

○フレックスタイム制活用の「勤務時間を割り振らない日」対象拡大

*フレックスタイム制の活用により、勤務時間総量を維持した上で、週1日限度に勤務時間を割り振らない日(ゼロ割振日)を設定可能に(育児介護等職員に認められている措置を一般職員に拡大するもの)

III) 公務員人事管理に関する報告

○社会と公務の変化に応じた給与制度の整備(骨格案・24年に成案)

*人材確保を支える処遇実現

初任給近辺の俸給月額引上げ、係長〜本庁課長補佐級俸給水準引上げ、勤勉手当成績率上限引上げなど

*組織パフォーマンス向上策

本府省課室長俸給体系を職責重視に見直し、管理職員の超勤手当支給拡大、地域手当大括り化など

*多様なワークスタイル・ライフスタイル実現 扶養手当見直しなど



昨年の東京清掃賃金確定総決起集会

清掃・人権交流会第25回総会を実施

芝浦と場見学・交流会、狭山現地調査、 フィールドワークも計画（是非ご参加を）

「袴田事件」の学習会実施

清掃・人権交流会は7月29日に総会を実施しました。総会の前段には、東京清掃主催の『人権啓発推進担当者会議』が開かれ、「袴田事件」の学習を行いました。



袴田事件を話す映画監督金聖雄さん

主催者挨拶する押田会長

コロナ禍から平常に戻って

ゲスト講師に映画監督の金聖雄さんをお招きし、映画やテレビで発信してきた映像に最新の状況を加えて35分にまとめたものを上映していただきました。さらに直近の袴田さんの様子や再審無罪に向けての今後の展開についてお話をさせていただき、一日も早い再審の開始と完全無罪判決を勝ち取ろうと、確認しました。

清掃・人権交流会の総会では、経過報告などを確認したのち、活動方針、予算、役員体制を満場一致で確認していただきました。

ようやくコロナ禍の制約からいつもの活動に戻りつつあり、人権交流会の活動の中心であるフィールド

ワークも行うことができるようになりました。昨年度は12月に杉並清掃工場とごみ戦争資料館の見学、直近の5月には100年前の関東大震災の時に起こった「福田村事件」(現在の千葉県野田市)のフィールドワークを実現しました。

今年もいろんな行事を計画

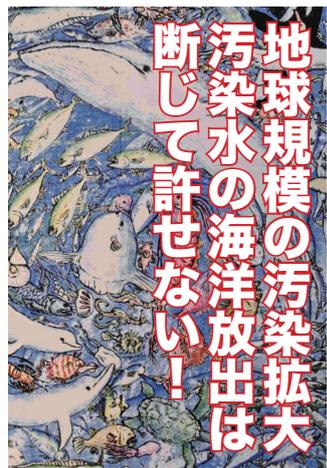
今後の予定として、前にも行ったことがあります。「明治大学平和教育登戸研究所資料館」や「多摩全生園とハンセン病資料館」見学などを計画しています。また4年ぶりに9月12・13日には「芝浦と場見学・交流会」が実現しますし、10月15日(日)には27年連続となる「狭山現地調査」も行ないます。

こうした活動をさらに活発に行ない、平和と人権、差別の撤廃に向けて運動を前進させていこうと確認しました。

また新たな事務局に、青年部の橋本さん(本部青年部執行委員)が加入してくれました。若い世代への幅広い発信を期待したいと思います。

(押田五郎)

地球規模の汚染拡大 汚染水の海洋放出は 断じて許せない!



8月25日、政府・東電は漁業者など多くの反対・懸念を押し切り、福島原発「汚染水」の太平洋放出を始めました。「処理水は安全?」「薄めて

るから大丈夫?」。原発推進派の巣窟IAEAの承認を得たから「科学的」だと。トンデモありません。ALPS処理水には取り切れない放射性物質がゴッソリ、被害は被曝総量に規定されるから薄めてダメ。

中国の批判を政治的決めつけ、太平洋の国々の反対意見を無視。英独等が「汚染水」と報じている事実も隠し続ける政府とマスコミ合作の口は、まるで大本営発表と同じ。

30年で廃炉は100%無理、100年かかるでしょう。地下水等流入の遮蔽を全くできず、汚染水は溜まり続けます。ギブアップし石棺化すべきです。海洋放出を即時停止せよ!!

関東大震災時の朝鮮人虐殺はどうして起きたのか？ 蔑視だけで人を殺さない。朝鮮支配態勢が招いたもの

かつて総評が提携した文化人団体を継承する『市民文化フォーラム』は、毎年、「8・15集会」を開催しています。

コロナ禍で4年ぶりの集会は、関東大震災100年、「朝鮮人虐殺慰霊式典への追悼文送付を拒否」したままの小池都知事の歴史修正主義に批判が高まる中、開かれました。

集会テーマは「日本の『植民地戦争』責任と戦後民主主義の枯死」

日本の「植民地戦争」責任と戦後民主主義の枯死



発題者の榎蒼宇さん

義の枯死」、発題者は朝鮮近代史研究者、法政大学教員榎蒼宇（しんちゃんう）さん、「関東大震災朝鮮人虐殺と日本官民の植民地戦争経験の視点」が講演の主要テーマでした。

なぜ大虐殺が起きたのか

関東大震災での朝鮮人虐殺は民衆が行ったことが特徴。反省がなく、日本政府は自警団に責任を科し、実態の解明をやるうとせず、現在に至る。疑問は、①なぜ朝鮮人暴動のデマが出たか、②それがなぜ即虐殺につながったのか。

朝鮮植民地化で蔑視意識

植民地化で朝鮮の農民が窮乏し流民化、在日朝鮮人増加を背景に、吉田松陰の論説に

始まる自由民権派征韓論等が庶民の朝鮮蔑視感を醸成。日露戦争期「朝鮮は野蛮な落伍社会」の認識が一般化。

民族運動弾圧で大量虐殺

蔑視だけで虐殺しない。「殺しても構わない」という合意はどのように形成されたのか。朝鮮植民地戦争は、甲午農民戦争、日露戦争時の抗日運動、義兵戦争、三・一独立運動、シベリア戦争、間島事件と続き、その都度大量虐殺が発生。

民族運動Ⅱ「暴徒」規定の軍事行動が治安維持として行われ、「暴徒討伐」は、虐殺による「殲滅」と一般住民を巻き込む「連座」の論理が貫徹。「責任ある村は焼き払い、民は撃殺すへし」（兵站監命令）。

大震災時、虐殺必然の流れ

間島虐殺の3年後に、関東大震災、朝鮮人虐殺（23年）。当時の陸軍首脳は植民地支配経験者Ⅱ独立運動敵視者中心。朝鮮半島でデマ・謀略利用で弾圧した成功体験。自警団には朝鮮半島で虐殺を経験した在郷軍人が多く、デマに

即応して「殲滅」を実戦、東京下町で虐殺を行った騎兵連隊は間島虐殺事件等関与部隊。関東大震災で「殲滅」と「連座」が起きたのは、この流れ。

「正当防衛論」が無反省の根

日本は欧米からの批判を意識し「正当防衛論」を展開。キリスト教会襲撃、30数名虐殺事件の軍法会議は「油断していたら中にはいかなる悪者

がいるかもしれぬ」と「やむなき発砲」論で「無罪」。この論法の「無反省」が、朝鮮民衆への過酷な迫害と関東大震災の朝鮮人虐殺につながった。

民衆責任も問われるべき

日本政府の謝罪・補償・真相究明・責任者処罰なしは問題。「植民地」支配自体に対する責任は普遍的。「植民地」支配の過程で行われた「人道に対する罪」は「植民地犯罪」だ。「植民地戦争」を送り出した「銃後社会」にも責任がある。関東大震災の虐殺は朝鮮での植民地支配の責任を問う機会になる。国家責任は勿論、民衆責任も問われるべきだ。

5

戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会

「新たな戦前」にしないために

敗戦から78年、今年も8月15日に平和フォーラム主催の『戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会』が、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開かれました。

改めて、戦争する国への道
阻止の闘い強化を誓う

正午に黙祷。主催者、来賓者の「誓いのことば」を、勝島一博平和フォーラム共同代表、立憲民主党近藤昭一衆院



議員、社民党大橋ゆう子参院議員、立憲フォーラム副代表阿部知子衆院議員、戦争させない千人委員会事務局長内田雅敏弁護士が贈りました。その後、参加者が献花しました。

連合国側「対日戦勝の日」は
ミズーリ調印式の9月2日

日本では8月15日を「終戦の日」としています。天皇が「ポツダム宣言受諾」をラジオ放送した日です。世界的に8月15日を「対日戦勝の日」としているのは、イギリスと朝鮮半島2国だけ、多くは「連合国と日本が休戦協定締結したミズーリ号調印式」の9月2日（米、仏、豪、蘭等）、ソ連（現ロシア）・中国は戦勝記念式典を行った9月3日としています。確かに9月2日の方が国際法的にも論理性があります。8月15日を「敗戦の日」とせず、「終戦の日」とするマヤカシの論法も、天皇の戦争責任をきちんと追求しなかった問題性の現れです。

止めよう！南西諸島の軍事基地強化

連日続く異常な猛暑の中、8月の総がかり19日行動が国会議員会館前で開かれ、南西諸島の軍事基地強化や関東大震災朝鮮人・中国人虐殺、福島原発汚染水海洋投棄の問題点などが訴えられました。

7月の19日行動から、東京清掃は「闘争指令」を発して取組み、この日も若い組合員が多数参加しました。

南西諸島で米日軍事協力が
強化、島を捨てる準備も

『ミサイルいらぬ宮古島住

民連絡会』の清水早子さんは、「南西諸島では爆破実験や、輸血血液の米軍・自衛隊共有、遺体の収容訓練が行われるなど日米の軍事協力が進んでいる。しかも、南西諸島を捨てるための準備が具体化、島民を宮古島経由で九州へ運ぶ計画が立てられており、宮古島に450機の飛行機を投入すれば可能とされている。島には戦争と向き合う日常がある」と切実な実態を報告しました。

関東大震災朝鮮人等虐殺の
事実に向合い人権を大事に

『ピースボート』の野平晋作さんは、日米韓首脳会談について、「韓国のユン大統領は韓日関係改善を強調するが、朝鮮半島の戦争犠牲者を切捨てるもの」と批判、「今年は関東大震災から100年。朝鮮人・中国人虐殺の事実に向き合おう」とし、政府や東京都等の自治体への抗議の意を込めて、9月2日に国会キヤンドル行動を行う。いのちと人権を大事にする社会にしていこう」と訴えました。

